施策評価シート（令和３年度実績）

施策名　32　多文化共生のまちづくりを進める

施策コード	050032

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	推進方策　市民とともに　紡ぐ　まちづくり
主管課	都市政策部　広報交流課	
関係課		

２．施策の目標

10年後の目標

市民一人ひとりの国際理解が深まり、様々な交流が行われているとともに、外国人にとっても住みやすい環境となり、多文化共生が実現しています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇市民が異文化を理解し、尊重するための取組みを支援します。
〇教育、防災、福祉など生活全般にわたって、外国人が暮らしやすいよう支援するとともに、市民が文化の違いを理解し歩み寄ることができるよう啓発します。
〇市民、市民団体、企業との協働により、多文化共生のまちづくりを進めます。
〇多言語や簡易な日本語（ひらがな等）、イラストを多用した情報発信の充実に取り組みます。

市民・団体・事業所等の取組み

〇市との協働により多文化共生のまちづくりに取り組みます。
〇異文化への理解を深め、国際感覚を養います。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

令和2年初頭から、世界的なコロナ禍により、在住・在留外国人には影響はないものの、本市を訪れる外国人が激減している。

新たな市民ニーズ

コロナ禍に対する行動規制等の緩和状況により、コロナ禍前の対面での交流やネット環境等による新たなかたちの交流ニーズが増加している。

４．施策にかかるコスト

			単位	R2予算	R2決算	R3予算	R3決算	R4予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		1.38		1.68	
		会計年度任用職員数			0.0		0.87	
	人件費	直接人件費	千円		6,644		11,831	
		間接人件費			2,650		2,683	
	直接事業費			1,427	963	1,427	1,019	1,427
	間接事業費				795		1,242	
	フルコスト				11,052		16,775	
財源内訳	使用料及び手数料		千円					
	国庫支出金							
	府支出金			250	250	250	250	250
	市債							
	その他			300	0	290	0	570
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				10,802		16,525	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			877	713	887	769	607

備考

５.施策の成果指標

成果指標1		国際交流行事参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人	毎年度	2,000	増加	1,500	1,600	2,000	2,000
成果指標2		市内在住外国人数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人	毎年度	1,100	増加	1,093	1,094	1,100	1,100
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和3年度実績）

事務事業名	最重要指標			事業費 人件費 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込)	方向性		所見
国際化推進事業 （交流）	国際交流協会主要イベント参加者数			808	932	1,000	1,012	成果	A：向上を図る	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント参加者は減少したが、オンライン交流等の頻度は増加した。新たな交流方法やイベントの在り方について、検討する必要がある。
	R3実績	380	人							
	最終目標値に対する達成率	29.2%		3,559	6,532	8,616		資源配分	B：現状維持	
姉妹都市親善事業 （交流）	姉妹都市関係行事延べ参加者数			415	31	19	415	成果	A：向上を図る	新型コロナウイルス感染症の影響により、KIX泉州国際マラソン招待選手交流事業、ロサンゼルスマラソン派遣事業が中止となった。再開に向け、準備を進めるとともに、今後、交流の在り方について、検討する必要がある。
	R3実績	41	人							
	最終目標値に対する達成率	45.5%		3,551	2,762	5,898		資源配分	B：現状維持	

７．施策の事後評価

施策指標の分析（達成状況）	コロナ禍でイベントの実施や対面での交流での参加人数は少なかったが、ネットでの開催なども実施した事業については、従来と変わらない程度の参加者となった。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

８．今後の方向性

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベント、交流事業が中止となった。今後のイベントや交流事業については、再開に向け準備を進めるとともに、オンライン等の積極的な活用により、新たな生活様式に即した在り方を検討する。
また、姉妹都市であるアメリカカルバシティ市、令和3年10月から友好交流を締結した台湾台中市北区との交流を中心に、かいづか国際交流協会等関連団体と連携し、市民に国際理解が深まる取り組みを進めていく。